

2月7日体験スポット 箱根

箱根は古来東海道の要衝であり、「天下の険」と謳われた難所箱根峠のふもとは宿場や関所が置かれた。近代以降は保養地・観光地として発展。各所に湧く温泉や、芦ノ湖、大涌谷、仙石原などがとりわけ有名である。1936年に「富士箱根国立公園」（現・富士箱根伊豆国立公園）に指定されている。

●観光サイト：<http://www.hakone.or.jp/>

【箱根ケーブルカー】

箱根ケーブルカーは4駅の各区間を8分で結ぶ18人乗りのゴンドラを運行している。

早雲山を出発すると、ぐんぐんと山の斜面を登る。山の頂上まで登ると、天気がいい日は一気に視界が広がり、ダイナミックな富士山や地上から130mの谷が現れる。大涌谷の標高1,044mまで上り、その先、桃源台までは芦ノ湖や富士山を眺めながらの空中散歩を楽しめる。

●観光サイト：www.hakoneropeway.co.jp/

【大涌谷（箱根火山の噴煙地）】

大涌谷は二回の過程を経て形成された。約3100年前、箱根火山で水蒸気爆発による山崩れが発生し堆積物が貯まった。さらに約2900年前に小規模な火砕流が発生、冠ヶ岳ができ、また火山砕屑物が積もった。この火山砕屑物と山崩れによる堆積物の間が現在の大涌谷となっている。かつて「地獄谷」と呼ばれていたが、1876年（明治9年）9月5日に改称された。

【大涌谷の黒たまご】

大涌谷には鎌倉時代に作られたといわれる延命・子育ての「延命地蔵尊」というお地蔵様がある。このお地蔵様にあやかり「黒たまご」を食べると寿命が延びるといわれている。ひとつ食べると7年寿命が延びるといわれている。生卵を温泉池でゆでると、気孔の多い殻に鉄分（温泉の成分）が付着、これに硫化水素が反応して硫化鉄（黒色）となり黒い殻のゆで玉子ができる。



●観光サイト：<http://www.owakudani.com/>

●住所：〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 1251

【箱根神社】

箱根神社は、神奈川県足柄下郡箱根町にある神社である。旧社格は国幣小社。箱根大神（瓊瓊杵尊・木花咲耶姫命・彦火出見尊の総称）を祀り、かつては箱根権現、三所大権現と称した。

●観光サイト：<http://hakonejinja.or.jp/>

●住所：〒250-0522 神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 80-1



＜神社で参拝の仕方＞

境内への道は端を歩いてください。真ん中は神様が通ります。また、参拝は、お辞儀と拍手の回数は決まっているので、要注意です。

- (1) 拝殿の前に立ち、お辞儀をして、鈴を鳴らす。
- (2) おさい銭をさい銭箱に入れる。(おさい銭は静かに入れる)
- (3) 二礼 (二回深くお辞儀する)
- (4) 二拍手 (二回手をたたく)
- (5) 手を合わせたままお祈りする。
- (6) 一礼 (一回お辞儀)



【箱根海賊船】

神奈川県箱根町の芦ノ湖で運行する観光船。海賊船風の船が就航しており、運行上の愛称は箱根海賊船である。現在は、ロワイヤル (定員 650 名)、バーサ (定員 650 名)、ビクトリー (定員 500 名) の 3 種類の船があり。桃源台港、箱根町港、元箱根港の 3 つの港を結んでいる。

●観光サイト：<http://www.hakone-kankosen.co.jp/>



2月8日体験スポット 箱根・江ノ島

【箱根寄木細工】

箱根寄木細工は種類の多い木材の、それぞれが持つ異なった材色や木目を生かしながら寄せ合わせ精緻な幾何学文様を作り出し一定厚みの「種板(たねいた)」とし、これを特殊な大鉋(おおかんな)で薄く削り、小箱などに貼布、装飾に利用したり、種板をそのまま加工し製品にする手作りの木工芸品です。薄く削った模様を木製品の外側に貼り付ける手法を「ツク貼り」、種板を加工して形づくる手法を「ムク作り」と言います。



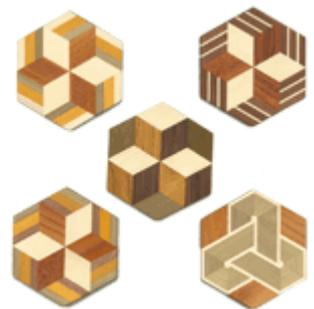
製品としては、文箱・引出し類・宝石箱・盆・菓子器・コースター・花器など、様々な木工芸品があり、箱を開ける際のからくりが施してある秘密箱は有名です。

この技術技法は江戸時代末期に箱根町畑宿に始まり、現在まで技術継承がなされ、小田原、箱根地方が我が国では唯一の産地です。昭和59年5月、通商産業大臣により「伝統的工芸品」として指定を受けました。

本間寄木美術館では、伝統的文様の寄木コースターを手作りしながら、寄木細工の製作を楽しく体験できるコーナーがある。

ーでんとう文様のムク寄木コースター(サイズ約10cm)づくりー

1. 寄木のパーツを組み合わせて文様を作る。
↓
2. 接着剤で各パーツをつける。
↓
3. 紙やすりでこすり、ワックスをする。



自分だけのオリジナル
コースターを作ってみよう!

金指ウッドクラフト直売店

- 観光サイト：<http://www.kanazashi-woodcraft.com/index.html>
- 住所：〒250-0314 神奈川県足柄下郡箱根町畑宿 180-1

【江ノ島】

江の島（えのしま）は、神奈川県藤沢市にある湘南海岸から相模湾へと突き出た陸繋島である。湘南を代表する景勝地であり、古くから観光名所となっている。神奈川県指定史跡・名勝、日本百景の地である。交通機関の駅名などでは江ノ島と表記することも多いが、住居表示・公文書等で使われる公称地名は「江の島」と表記する。古くは江島神社（日本三大弁天の一つ）に代表されるように「江島」と表記されていたこともある。

【江ノ島シーキャンドル】

湘南のシンボルとして親しまれる江の島シーキャンドル（展望灯台）は、2002年の江ノ電開業100周年事業の一環として、2002年5月9日、【景観・自然への配慮】・【公共的な利用価値の追求】・【地域の観光振興】を基本コンセプトに老朽化した旧江の島展望灯台からの建替工事を起工、2002年12月31日には旧江の島展望灯台との灯具交換が行われ、2003年4月28日に竣工、2003年4月29日（みどりの日）にリニューアルオープンしました。

特長ある逆円錐型の外観は、多数の携帯電話のアンテナを塔のシルエット内の収めることができるほか、周辺に影を落とすにくくすることにより自然環境に配慮した作りとなっており、南側に取り付けられた太陽光発電機によってライトアップ他の電気を賄う、民間灯台としては国内最大級を誇る航路標識機能だけでなく、エコにも配慮した多機能展望灯台となります。

また、江の島シーキャンドルの真下に広がるウッドデッキの「サンセットテラス」は旧江の島展望灯台の跡を活かしたもので、その名のとおり、展望室に勝るとも劣らない夕景をお楽しみ頂けるテラスです。海拔101.5mの展望室からは西側に富士山、伊豆半島や箱根、丹沢の山々、南側に大島、東側には三浦半島、空気が澄んだ日には房総半島を望むことができ、北側には横浜ランドマークタワー、更には東京スカイツリーまで一望できます。

特に夕景、夜景の美しさにはリニューアルオープン当初からご好評頂いており、2010年8月10日には、湘南随一と言われる夜景が第6回「日本夜景遺産」に認定されました。

